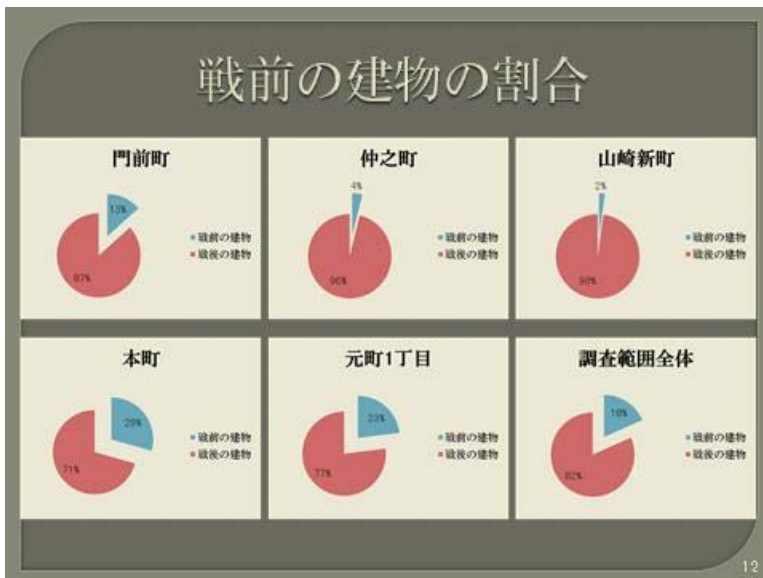


■ 平成 24 年度 生駒支部調査報告会

4月27日（金）17:30～18:30 生駒セイセイビル

地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業、歴史的建造物の保全・活用の促進による地域の活性化事業の調査報告会を総会の終了後に行いました。

地元自治会役員や生駒市役所関係各課、商工会青年部、その他、地元地域の関係者に声をかけ、生駒支部の会員を合わせて24名が報告に耳を傾けました。



考察と感想

戦前の建物は、料理旅館や休憩茶屋の跡、老舗の商店が多く見受けられ、一風変わったところでは公設市場の跡が残っている。その設えはいわゆる町家の伝統的意匠は備えていないが、二階の窓に取り付いている高欄の種が目立った。空き地は点在し、車両の利用に供することができる土地では駐車場に利用されている。空き家の中には屋根や構造体が朽ちた木造の物件もあり、今後その建物の活用を考慮するならば修補が急務である。調査範囲はすべて商業地域でありながら傾斜地という立地条件や車両の通行の便が悪い地区では低層の木造の建物が多くを占め、駅前の通りに面した平坦地の地区では中低層の鉄骨造や鉄筋コンクリート造の建物が立ち並んでいる。

この調査結果とさらに掘り下げた分布や考察を深めることが意義あることだと考えたい。そして、年間300万人が訪れる寺の参道を再び活気づけることが、駅周辺の商店街を含めた活性化と、今後のより良いまちづくりにつながるかどうかを住民・商店会・まちづくり団体や職能団体、そして行政と連携をとって進めたいと思う。

(記・生駒支部長 伏見康司)